【農業ガイド1262号】前川会長を再任　中央青果団地運営協　2020年7月18日

管内７ＪＡでつくる十勝中央青果団地運営協議会は、新型コロナウイルスの感染予防のため、通常総会議案を書面議決で承認した。役員改選では、前川厚司会長（ＪＡ幕別町組合長）を再任した。任期は３年。

総会は７日付で成立。同協議会は幕別町、さつない、おとふけ、木野、本別町、上士幌町、士幌町のＪＡで組織している。広域的な青果物生産、流通に関する事業を行う。

今年度事業では、ナガイモ「とかち太郎」の採種生産や青果栽培技術の向上試験などを行う。

この他の役員改選では、副会長を務めていたＪＡ士幌町の篠原末治氏がホクレン会長に就任し、同ＪＡ会長となったため、後任の國井浩樹組合長が協議会の副会長に就任した。

その他の役員は次の通り。（敬称略）

▽副会長＝笠井安弘（ＪＡおとふけ、再）小椋茂敏（ＪＡ上士幌町、再）佐野政利（ＪＡ本別町、再）

▽監　事＝高橋秀樹（ＪＡさつない、再）清都善章（ＪＡ木野、再）

十勝高島と合併　新ＪＡ十勝池田町が発足　販売高74億円規模に　2021年3月1日

【池田】ＪＡ十勝池田町とＪＡ十勝高島が１日付で合併し、新ＪＡ「ＪＡ十勝池田町」が発足した。同日午前11時から町内の田園ホールで発足式が行われ、新役員・理事、来賓など63人が新しい船出を祝った。

発足式前に理事会が開かれ、新ＪＡの代表理事組合長に旧ＪＡ十勝池田町組合長の鈴木雅博氏（61）を選任、その他新役員を決めた。

発足式の開会に当たり、鈴木組合長が1989年に利別、池田両ＪＡが合併して十勝池田町が誕生した歴史を振り返り、「新たな心で結束を図り、真摯（しんし）に営農に取り組む組合員、地域の皆さまに信頼され、頼りにされる新たな農協組織として役職員一丸となり、総力を挙げて取り組む」とあいさつした。

来賓の水戸部裕十勝総合振興局長、安井美裕池田町長、小野寺俊幸ＪＡ道中央会会長、有塚利宣十勝地区農協組合長会会長が祝辞。

最後に合併奨励金の目録が贈呈され、新ＪＡ副組合長理事の八木英光氏（66）＝旧ＪＡ十勝高島組合長＝が「池田農業がさらなる発展を遂げ、組合員の負託に応えていくことを誓う」と閉会のあいさつを述べた。

合併に伴い、ＪＡ十勝高島は同日解散した。新ＪＡの正組合員数は391人。理事は18人、監事は７人。農畜産物販売取扱高は計画値で74億8300万円を見込む。

道内のＪＡの合併は、2015年のＪＡびらとり（ＪＡ平取町とＪＡとみかわ、日高管内）以来６年ぶり、十勝では05年のＪＡあしょろと足寄町開拓農協の合併以来16年ぶり。

新ＪＡの理事の顔ぶれ。
右から３人目が鈴木組合長、同４人目が八木副組合長